

「高蔵寺リ・ニュータウン計画」骨子（案）

高蔵寺リ・ニュータウン計画2021（第1次改定）

はじめに

第1章 高蔵寺ニュータウンの概要とこれまでの取り組み

- 1 高蔵寺ニュータウンの概要
- 2 高蔵寺ニュータウン計画と開発以降の歴史
- 3 高蔵寺リ・ニュータウン計画成立までの経緯
 - (1) 春日井市の取組
 - (2) 諸機関・団体の取組
- 4 高蔵寺リ・ニュータウン計画に基づく取り組みと評価

第2章 現状と課題

- 1 高蔵寺ニュータウンの特性と周辺との関係
 - (1) 高蔵寺ニュータウンの特性
 - (2) 当初の計画思想と実現状況
 - (3) 春日井市における高蔵寺ニュータウン
 - (4) 名古屋市の東方に位置する住宅地の集積
- 2 人口・世帯の動向
 - (1) 人口・世帯
 - (2) 少子高齢化
 - (3) 子育て世帯
 - (4) 社会増減
- 3 住宅・土地の状況
 - (1) 住宅の構成
 - (2) 住宅ストックの状況（性能・リフォーム）
 - (3) 空き家・空き地の発生状況
 - (4) 住宅・土地の流通状況
- 4 交通の状況
 - (1) 鉄道の状況
 - (2) バスの状況
 - (3) 交通渋滞の状況
 - (4) 歩行環境と移動の支援

- 5 生活利便サービスの状況
 - (1) 商業サービスと買い物支援
 - (2) その他の生活利便サービス
- 6 地域の雇用・産業の状況
 - (1) 就業状況
 - (2) ニュータウン内及び近隣の工業立地
 - (3) 近隣の農業
- 7 公共公益サービスの状況
 - (1) コミュニティ活動
 - (2) 教育・子育て支援
 - (3) 医療・社会福祉
- 8 社会基盤整備の状況
 - (1) 道路・駅前広場
 - (2) 公園
 - (3) インフラの老朽化
- 9 自治組織・市民団体の状況
 - (1) 自治組織の状況
 - (2) 市民団体の状況
- 10 防災・防犯の状況
 - (1) 災害の危険性
 - (2) 犯罪の発生状況
- 11 住民の意識

第3章 高蔵寺リ・ニュータウン計画

- 1 基本理念と目標
 - (1) リ・ニュータウンの基本理念
 - ア リ・ニュータウン
 - イ 7つの基本理念
 - (2) 計画の範囲
 - ア 計画期間
 - イ 計画区域
 - (3) 人口の将来像

平成 28(2016)年に策定したリ・ニュータウン計画では、平成 27 年の人口 45,217 人を基準として、平成 37 年までの 10 年間で 48000 人の人口に

達することを目標として掲げた。しかし、令和元（2019）年時点の人口は44,821人であり、人口の減少は依然として続いている。現状のままで特段の対策をとらない場合、令和3（2021）年度からの10年間において、2020年の約43000人から2030年の約39000人まで減少するという予測がある。

改訂計画では、人口規模の目標として、単一の数値を掲げることをせず、対策の程度に応じた3つのシナリオを設定し、現状水準の維持を基本の目標としつつ、可能な限り、高い目標の達成に向けて施策の充実を図ることとする。

	基準値 (2020)	目標値（2030）		
		シナリオ1 現状水準の確保	シナリオ2 ストック活用充実	シナリオ3 新規需要の開拓
人口規模	43000人	43000人	46000人	48000人
シナリオ の考え方		リ・ニュータウン計画の基本的な対策を着実に推進。	既存住宅の流通促進を図るための最大限の対策を充実。	駅・センター地区周辺で新規の住宅供給を喚起するために最大限の対策を敢行。

(4) 成果指標と評価方法

2 施策の構成

3 先導的な主要プロジェクト

(1) 先行プロジェクト（2年以内に着手）

ア 団地再生によるモデル住宅地づくり：高森台スマートウェルネス整備

イ ニュータウンの顔づくり：高蔵寺ゲートウェイの整備

ウ 旧小学校施設の活用による生活利便施設誘致：西のサブセンター整備

(2) 展開プロジェクト（先行プロジェクトの効果を検証して展開）

ア 交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築

イ センター地区の商業空間の魅力向上と公共サービスの充実

ウ 戸建て住宅エリアのストック活用の促進

(3) ニュータウン・プロモーション

4 課題に応じた主要な施策

(1) 住宅・土地の流通促進と良好な環境の保全・創造

(2) 身近な買い物環境の整備と多様な移動手段の確保

(3) 多世代の共生・交流と子育て・医療・福祉の安心の向上

(4) 既存資産（ストック）の有効活用による多様な活動の促進

(5) 高蔵寺ニュータウンを超えた広域的なまちづくりの促進

5 新たな課題への対応

- (1) リニア開通後のニュータウンに向けて
- (2) コロナ後のニュータウンに向けて

6 計画の推進と見直し

- (1) 多様な主体の協働・連携とまちづくり会社の役割
 - ア 多様な主体の協働・連携
 - イ まちづくり会社の役割
- (2) 計画の推進と見直しの仕組み